3M

ポケットプロジェクター
MPro150 取扱説明書（ファイル操作）

目　次	ページ
1. ファイル操作	1
2. 文書ファイルの投影	2
3. スプレッドシートファイルの投影	3
4. プレゼンテーションファイルの投影	3
5. メディア・ファイルの投影	4
6. 写真ファイルの投影	5
7. 設定	6

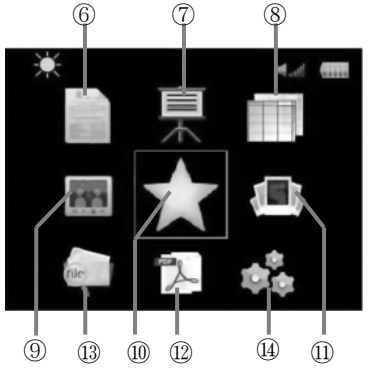
本取扱説明書は３M™ ポケットプロジェクター MPro150 のファイル操作方法について記載しています。
本体の使用方法については、
「MPro150 取扱説明書（本体の使い方）」
をお読みください。

1. ファイル操作

起動後、MPro150 にケーブルやビデオ装置などが接続されていないとき、ステータス・バーが投影され、MPro150 の設定状態（明るさ、音量レベル、電池残量）を表示します。

1）**ホームスクリーン（その1）**
①ソートアイコン：ファイル名、日付、サイズ別にファイルを並べ替えることができます。
②明るさ、③表示可能なファイル、④音量、⑤電池残量

2）**ホームスクリーン（その2）**
内蔵メモリやマイクロ SD カードに保存されているファイルをファイル形式別に表示することができます。
⑥～⑪では、内蔵メモリとマイクロ SD カードに保存されている下記ファイルをリストで表示します。
⑥文書ファイル　⑦プレゼンテーションファイル
⑧スプレッドシートファイル　⑨音声とビデオファイル
⑩お気に入りとして設定されているファイル
⑪写真フォルダ（写真サムネイル）
⑫PDF ファイル　⑬すべてのファイルとフォルダ
⑭設定メニュー



3）ファイルリスト
⑮並べ替え順序：
エンターボタンでどの項目（名称、サイズ、日付別）について並べ替えるか、選択します。
⑯SD カードが挿入されていると、表示されます。
⑰使用可能なフォルダが表示されます。
なお、フォルダはすべてのファイルの閲覧時に表示されます
⑱お気に入りとして設定されているファイルが表示されます。

4）ファイルの選択
選択ボタンでファイルを選択し、エンターボタンを押してファイルを開けてください。
なお、一度に表示できるのは9ファイルまでです。残りのファイルを見るときは、選択ボタン（上／下）を押してください。

5）ファイルの削除
①選択ボタン（上/下）を押して削除したいファイルに合わせ、選択ボタン（右）を押します。
②ファイル削除確認ダイアログボックスが現れます。
③選択ボタン（右／左）を押して、Yes または No を選択し、エンターボタンを押します。

6）お気に入りとしてファイルを設定する
①ファイルを閲覧して、お気に入りとしてマークするファイルを選択します。
②選択ボタン（左）を押して、ファイルをお気に入りとして設定します。
③スターアイコンが、ファイル名の隣に現れます。
④お気に入りから外すには、選択ボタン（左）を押してください。

7）SD メモリーカードのファイルリスト閲覧
①SD カードアイコンを表示し、選択ボタンで選択し、エンターボタンを押します。
②SD カードのファイルリストが現れます。読み出し可能なファイルがない場合ときは、「SD カードにファイルはありません」と表示されます。

ホームスクリーンリーンへの復帰
ホームスクリーン戻るときはバックボタンを押してください。

2. 文書ファイルの投影

MPro150 は、マイクロソフト・ワードファイルを見るためにピクセル・ファイル・ビューアを使っています。

使用上の注意：
・Microsoft Word 95、Microsoft Word 97、Microsoft Word 2000、Microsoft Word 2003 と Microsoft Word 2007 の doc と docx ファイルをサポートしています。
・フォントには制限があり、サポートされていないフォントは変えられます。フォント代替によって、文書ページ・レイアウトが少し違って投影されることがあります。フォント代替ができないときは、テキストは長方形または空白として表示されます。なお、ピクセル・ファイル・ビューアでメモリが足りなくなったら、ファイル中の最後のページの一部は空白のページとして表示されことがあります。
・文書ファイルが特別なフォントまたはフォーマットを含んでいる場合、PDF ファイル形式でファイルを保存してください。フォントは、ファイルの一部になって、フォント代替が行われません。
・オブジェクトのなかには、サポートしていないものがあり、これらは変えられるか、空白になります。

1）文書の閲覧方法
・選択ボタン（上／下）で文書を選択します。一度に表示できるのは 9 つのファイルまでで、リストの下方の他のファイルを見るためには、下ボタンを押してください。
・エンターボタンを押して文書を開きます。

2）文書の拡大閲覧
・文書が開いているとき、選択ボタンの OK ボタンを押すと文書ページを拡大できます。ボタンを押す毎に、ページより拡大されます。（1倍、2倍、4倍、8倍）
・ページが拡大されているとき、選択ボタンを使ってページの中を移動できます。
なお、拡大移動中は、画像品質が瞬間低下しますが、すぐに元に戻ります。

3）文書ページのスクロール
ページが拡大されていないときには、選択ボタン（上／下）で文書ページがスクロールできます。

4）ファイルリストへの復帰
ホームスクリーンに戻るためには、バックボタンを押してください。

3. スプレッドシートファイルの投影

MPro150 は、Microsoft Excel ファイルを見るためにピクセル・ファイル・ビューアを使っています。

使用上の注意:

・Microsoft Excel 95、Microsoft Excel 97、Microsoft Excel 2000、Microsoft Excel 2003 と Microsoft Excel 2007 の xls と xlsx ファイルをサポートしています。
・フォントと数字のサポートには制限があり、サポートされていないフォントまたは数字は変えられます。
・オブジェクトのなかには、サポートしていないものがあり、これは変えられるか、空白になります。

1) スプレッドシートファイルの閲覧
・選択ボタン(上/下)でファイルを選択します。一度に表示できるのは 9 つのファイルまでで、リストの下方の他のファイルを見るためには、下ボタンを押してください。
・エンターボタンを押してファイルを開きます。

2) スプレッドシートの拡大閲覧
・ファイル(シート)が開いているとき、選択ボタンの OK ボタンを押すと文書ページを拡大できます。ボタンを押す毎に、拡大されます。(1倍、2倍、4倍、8倍、1/2 倍)
・シートが 2、4 または 8 倍に拡大されているとき、選択ボタンを使ってシートの中を移動できます。なお、拡大移動中は、画像品質が瞬間低下しますが、すぐに元に戻ります。

3) ワークブックにおける別のスプレッドシートの選択
倍率が 1 倍もしくは、1/2 倍のとき、選択ボタンの上と下ボタンを押すと、ワークブックの別のワークシートを選ぶことができます。

4) ファイル・リストへの復帰
ホームスクリーンに戻るためには、バックボタンを押してください。

4. プレゼンテーションファイルの投影

MPro150 は、Microsoft PowerPoint ファイルを開いて、閲覧するためにピクセル・ファイル・ビューアを使っています。

使用上の注意:

・マイクロソフト・パワーポイント 95、マイクロソフト・パワーポイント 97、マイクロソフト・パワーポイント 2000、マイクロソフト・パワーポイント 2003 と 2007、ppt と pptx マイクロソフト・パワーポイント・ファイルをサポートしています。
・フォントのサポートには制限があり、サポートされていないフォントまたは数字は変えられます。
・文書ファイルが特別なフォントまたはフォーマットを含んでいる場合、PDF ファイル形式でファイルを保存してください。フォントは、ファイルの一部になって、フォント代替が行われません。
・オブジェクトのなかには、サポートしていないものがあり、これは変えられるか、空白になります。

1) 文書の閲覧
・選択ボタン(上/下)でファイルを選択します。一度に表示できるのは 9 つのファイルまでで、リストの下方の他のファイルを見るためには、下ボタンを押してください。
・エンターボタンを押してファイルを開きます。

2) 文書の拡大閲覧
・文書が開いているとき、エンターボタンを押すと文書ページを拡大できます。ボタンを押す毎に、ページより拡大されます。(1倍、2倍、4倍、8倍)
・ページが拡大されているとき、選択ボタンを使ってページの中を移動できます。

3) 文書ページのスクロール
ページが拡大されていないときには、選択ボタン(上/下)で文書ページがスクロールできます。

4) ファイルリストへの復帰
ホームスクリーンに戻るためには、バックボタンを押してください。

5. メディア・ファイルの投影

ビデオとオーディオ・ファイル・フォーマットには*.mov、*.avi、*.m4v と*.wma のように多くの形式があります。これらのファイル形式のほとんどは、コンテナの働きをします。それらは、いろいろなタイプのコード化されたビデオとオーディオを含みます。コード化されたビデオとオーディオの例は、MPEG-4、H.264、MP3、AAC です。これらのファイルを再生するためには、製品はファイルを読んで、ビデオとファイル中の音声を解読することができなければなりません。以下に、MPro150 が読み、解読することができるファイルタイプ、ビデオと音声のコードの表を示します。

1) ビデオとオーディオ・ファイル・サポート
下表に、MPro150 がサポートするファイル・コンテナとビデオと音声のフォーマットを示します。
なお、ビデオと音声のエンコーダの違いのため、サポートされるとリストされるこれらのファイルの中には再生できないことがあります。

・サポートしているビデオファイル

File Container	Video Format	Audio Format
*.g3pp	MPEG-4 SP, MPEG-4 ASP, H.264	AMR-NB, AMR-WB
*.g3p2	MPEG-4 SP, MPEG-4 ASP, H.264	AMR-NB, AMR-WB
*.mp4	MPEG-4 SP, MPEG-4 ASP, H.264	MP3, AMR-NB, AMR-WB
*.avi	MPEG-4 SP, MPEG-4 ASP, H.264	MP3
*.mov	MPEG-4 SP, MPEG-4 ASP, H.264	AMR-NB

・サポートしているオーディオファイル

File Container	Audio Format
*.mp3	MP3 Layer 1/2/3
*.wma	WMA Class 1-4

2) オーディオまたはビデオ・ファイルの再生
①方向パッドの上と下ボタンを使って、ファイルを選択してください。
②ビデオまたはオーディオファイルを再生するときは、OK ボタンを押してください。
なお、オーディオファイル再生中は、プロジェクタのライトが消えます。

3) 再生一時停止
①ビデオと音声の再生を一時停止させるには、エンターボタンを押してください。
②再生を再開するためには、エンターボタンを再度押してください。

4) 再生中の前、もしくは次のファイルへのスキップ
①再生中に方向パッドの右ボタンを押すと、ファイルリスト中の次のファイルにスキップします。
②左ボタンを押すと、ファイルリストの前のファイルにスキップします。

5) ファイルリストへの復帰
ホームスクリーンに戻るためには、バックボタンを押してください。

6. 写真ファイルの投影（ビットマップ（.bmp）とJPEG（.jpg）ファイル）

写真ファイル一覧は、写真フォルダまたはSDカード中の写真のサムネイルを表示します。写真ファイル閲覧では、写真を1枚毎に見るか、バックグラウンド・ミュージックのオン・オフを選択してスライドショーで投影することもできます。

1）写真の閲覧
①選択ボタンで見たい写真を選びます。
（16 枚の写真サムネイルを表示します）
ファイル・リストの下方の他のサムネイルを見るためには、選択ボタン（下）ボタンを押してください。
②エンターボタンを押して写真を投影します。

2）写真を見ている間に、次もしくは前の写真にスキップする
①ファイルリスト中の次のファイルにスキップするときは、選択ボタン（右）を押してください。
②ファイルリストの前のファイルにスキップするときは、選択ボタン（左）を押してください。

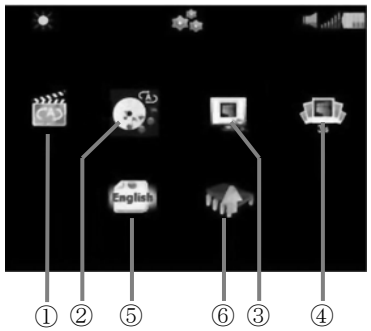
3）写真スライドショーのスタートと一時中断
①写真が表示されたら、エンターボタンを押すと写真スライドショーが始まります。
②写真スライドショーの間にエンターボタンを押すと、スライドショーが一時中断します。

4）ファイルリストへの復帰
ホームスクリーン戻るためには、バックボタンを押してください。

7. 設定

このスクリーンでは、動画再生設定、音楽再生設定、写真スライドショーでのバックグラウンド・ミュージックのオン・オフ、スライド間隔時間の変更、言語の変更、ファームウェアのアップグレードをすることができます。
以下は、メニュー項目とそれらの設定リストです。

①ビデオ再生　②音楽再生
③ピクチャー・スライドショー　④スライド間隔時間
⑤言語　⑥ソフトウェア・アップデート



1）ビデオ再生

全てを1回再生：
内蔵メモリ内の全ての動画を1回だけ再生して、メディア・ファイル・リストへ復帰します。

全てを繰り返し再生：
内蔵メモリ内の全ての動画を連続的に繰り返し再生します。エンターボタンを押すと、再生を一時停止できます。またバックボタンを押すとファイルリストに戻ります。

1ファイルを1回再生：
選択された1ファイルを1回再生して、メディア・ファイル・リストに戻ります。

1ファイルを繰り返し再生：
選択された1ファイルを連続的に繰り返し再生します。OK ボタンを押すと、再生を一時停止できます。またバックボタンを押すとファイル・リストに戻ります。

2）音楽再生

全曲を1回再生：
音楽フォルダまたは内蔵メモリ内の全ての音楽を1回再生して、メディア・ファイル・リストに復帰します。

全曲を繰り返し再生：
内蔵メモリ内の全ての音楽を連続的に繰り返し再生します。エンターボタンを押すと、再生を一時停止できます。また BACK ボタンを押すとファイルリストに戻ります。

1曲を1回再生：
選択された1曲を1回再生して、メディア・ファイル・リストに戻ります。

1曲を繰り返し再生：
選択された1曲を連続的に繰り返し再生します。エンターボタンを押すと、再生を一時停止できます。またバックボタンを押すとファイルリストに戻ります。

3）ピクチャー・スライドショー

①バックグラウンド・ミュージック設定
エンターボタンを押すと、バックグラウンド・ミュージックをオン／オフできます）

ピクチャー・スライドショーのバックグラウンド・ミュージックをONにします。プロジェクタ内蔵メモリの"Background Music"という名前をつけられたフォルダの中にバックグラウンド・ミュージック用の音楽を入れておく必要があります。

スライドショーのバックグラウンド・ミュージックをオフにします。

②スライド間隔時間設定
エンターボタンで 3、5、10、30、60 秒の中から設定してください。

③言語オプション
利用できる言語のなかからエンターボタンで選択してください。
（英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、伝統的中国語、簡易中国語、日本語）

4）ソフトウェアの更新
ソフトウェア・アップデートが利用できるようになった場合には、3M MPro ウェブサイトにアップデート・ファイルと説明を掲示します。MPro150 をアップグレードするための方法は以下のとおりです。

・更新のために必要なもの：
アップグレードのためには以下のものが必要です。
・MPro150 本体
・MPro150 の AC 電源
・500Mb 以上のマイクロ SD カード
・PC
・アップグレード・ファイル：upgrade.img と upgrade.md5

・MPro150 ソフトウェアの更新方法
①アップグレードが実行されるときには、MPro150 中の全てのファイルは削除されます。アップグレードを実行する前に、MPro150 中のファイルをバックアップしてください。
②MPro150 に AC 電源を付ける。

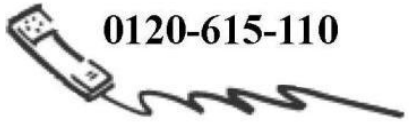
③マイクロ SD カードを MPro150 プロジェクタに挿入し、プロジェクタをコンピュータのUSBポートに接続し、プロジェクタの電源を入れます。
④コンピュータからマイクロ SD ドライブを開き、"upgrade"という名前のフォルダをつくる。
⑤"upgrade"フォルダに upgrade.img と upgrade.md5 をコピーする。
⑥設定メニューを開ける
⑦更新アイコンを選び、エンターボタンを押す
⑧Yes ボタンを選び、エンターボタンを押す
⑨アップグレードが開始して、完了するまでおよそ 10 分かかります。

商標について

・3M は、3M 社の商標です。
・PowerPoint、Excel、Word は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
・その他、本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

住友スリーエム ビジュアルカスタマーサポートセンター

受付時間:9:00～17:00(土・日・祝日を除く)



http://www.mmm.co.jp/vsd/

住友スリーエム株式会社
ビジュアルシステムズプロジェクト部
本社 〒158-8583 東京都世田谷区玉川台 2-33-1